

令和7年度 次世代創出PBL推進事業  
**実施報告書【地域創造推進実践校用】**

学校番号	32
学校名	富山県立氷見高等学校

<p>重点課題</p>	<p>○人材育成  「主体的に学ぶ」「協働して生きる」「挑戦し続ける」「創造的に学ぶ」「地域・世界に貢献する」人材の真の育成  ○学びの変革  知識の詰込みや暗記型学習からの脱却、生徒が備える資質・能力の伸長  探究学習と教科学習との学びの往還に関する研究  【普通科】  地域課題の解決等を目指した教科の枠を越えた学びを通じた、思考力、課題解決能力、実行力の伸長  【専門学科】  地域資源に対する価値の付加、DX活用による価値創造等に関する研究による思考力、発想力、アントレプレナーシップの伸長</p>
<p>課題設定の趣旨</p>	<p>【課題設定の趣旨】  人口減少による労働力不足、経済停滞等、国自体が多くの問題を抱える中、本県においても人口減少が加速化し、大きな課題となっている。現在の高校生は、今後、地域コミュニティの弱体化や産業の衰退等にも向き合いながら、「主体的」、「協働的」、「創造的」に挑戦し、社会課題に向き合う本プロジェクトの教科の枠を越えた学びの中で、生徒が自身の人生を切り開くとともに、豊かな未来を形成していくために必要となる力を伸ばす。  教科学習×地域課題×グローバルな視点に取り組み、地域の産業・文化と連携したプロジェクト型学習(PBL)を展開する。また、探究学習と教科学習との往還を強化する仕組みについての研究を開始する。</p> <p>【これまでのPBL推進に関する経過】  平成22年度 学校統合を機に、思考力を育成することを目的として、全学科1学年に「HIMI学」を開設  令和2年度 改訂された学習指導要領に目指す方向を揃え、「HIMI学」の名称を「未来講座HIMI学」に変更(Heighten Inspiration Motivate Inquiry(ひらめきを高め探究を促す)の意を込める)  「地域との連携による魅力ある高校づくり」を目指し、氷見市と包括連携協定を締結。文部科学省が「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の事業特例校に本校を指定  令和6年度 更なる学びの深化を目指し、普通科のHIMI学を2学年までの2年間継続とし、名称を「未来講座HIMI学Ⅰ」、「未来講座HIMI学Ⅱ」に変更  生徒の検討した課題解決策の実行に対して、地域から支援をいただき、より実践的な活動から学びを得られるように制度を設計</p>
<p>中長期ビジョンを実現するための今後の重点事項</p>	<p>・多くの班で「計画の立て方が上手くいかず、発表ギリギリになった」「期限を守るのが大変だった」という声があり、長期的なスケジュール管理に課題が残る。また、当初掲げた大きな目標が、安全面や資金、許可等の問題で実現できず、活動の縮小や変更を余儀なくされた例が散見され、理想と現実のギャップを実感している。  ・アンケートを取ったものの、その結果を十分に施策へ反映できなかったり、有益な情報を得ても活用しきれなかったり、活動の内容は良くても、プレゼンがうまくいかず、せつかくの内容が伝わらないという班も見受けられ、情報活用能力とプレゼン能力の向上が今後の課題といえる。  上記の結果より、来年度は計画の立案や情報活用能力とプレゼン能力の育成を目指し、外部講師の研修会の時間を設定したり、教員研修の時間を確保したりしていく必要がある。</p>
<p>実施内容  (具体的に記入する)</p>	<p>【実施内容】  ○普通科  1、2学年の総合的探究の時間の名称をそれぞれ、「未来講座HIMI学Ⅰ」、「未来講座HIMI学Ⅱ」(以下、HIMI学Ⅰ・HIMI学Ⅱ)とし、2年間にわたり、計画的、実践的に地域課題等の解決を目指した。  特徴的な活動として以下を実施した。  ・伴走者の配置(HIMI学Ⅰ、HIMI学Ⅱ)  各グループに、課題の内容に応じた外部人材を伴走者と称して配置し、外部人材20名程度、各年間8回程度の授業参加(フィールドワークを含む)を実施。授業参加以外にも、生徒と伴走者とが、すぐに連絡を取れる体制を構築した。  ・地域の探究実践者と語る(HIMI学Ⅰ)  5月8日に地域の課題解決に取り組む外部人材を一斉に本校に集め、生徒は興味のある分野について話を聞いた。これにより生徒は、自分たちの課題設定のヒントにすることができた。当日は、外部人材20名の方に来ていただくことができた。  ・学識経験者との中間討論(HIMI学Ⅰ、HIMI学Ⅱ)  各グループの生徒が進捗状況を説明し、専門的な視点から方向性等について助言いただくため、学識経験者3名の大学准教授を招致した。  ・校内発表会の開催(HIMI学Ⅰ、HIMI学Ⅱ)  ポスターセッション形式で実施し、学識経験者2名を招致した。伴走者も参加。中学校にも案内し、4名の中学校教員が参加した。  ・校外発表会の参加(HIMI学Ⅱ)  ひみ教育フォーラムにおいて、プレゼンテーション形式で発表した。中学校の教員だけでなく、地域の市民も参加する中で、意見交換も行った。また、とやま探究フォーラムに3班が参加し、他校との交流を図った。  ・振り返りの会の実施(HIMI学Ⅰ、HIMI学Ⅱ)  発表後に、いただいた意見等を基に伴走者や学識経験者、教員とともに振り返りを実施した。  ○専門学科  1学年の総合的探究の時間の名称を「未来講座HIMI学Ⅰ」とし、各専門分野における探究的な学びに触れた。1、2年次の専門分野の基礎的な学習の後、3学年の「課題研究」において、各分野から地域資源を活かすSDGs課題の提案等を行った。また、専門学科商品開発プロジェクトを立ち上げ4学科が連携した取り組みを行った。  ・専門学科商品開発プロジェクト  DXハイスクールを活用した無人販売所の運営を専門学科全体のプロジェクトとして、準備を始める。農業科学科・海洋科学科・ビジネス科による生産、加工品、新たに商品開発した商品を販売、生活福祉科の生徒がデジタル弱者への福祉を展開する準備を行った。さらにビジネス科の生徒がマーケティング、販売戦略を大学生と共に計画した。  ○その他  ・中学校教員を交えた研修会の実施  探究的な学びが広がるよう、また、本校教員のスキルが向上するために、校内発表会には氷見市の中学校の教員だけでなく高岡市の中学校教員も参加していただき、アドバイスをいただいた。</p>

<p>取組の成果 (プロジェクト学習推進 の観点から)</p>	<p>・「調査」から「実践・実行」への深化 多くの生徒が、1年次の「調べるだけ」の活動から脱却し、2年次では実際にイベントを開催したり、商品を制作・販売したりといった具体的なアクションを起こせたことが最大の成長といえる。</p> <p>・実社会で通用するコミュニケーション能力の獲得 外部の企業や地域住民、専門家との交渉(アポ取り、電話対応、メールのやり取り)を通じて、敬語の使い方や相手の立場に立った伝え方を学んだ。</p> <p>・柔軟な問題解決能力とレジリエンス(回復力) 当初の計画が頓挫しても、現実的な制約(予算や安全面など)を考慮して目標を立て直したり、失敗から学びを得て次へ活かしたりする「修正力」が身についた。</p> <p>・地域社会の一員としての当事者意識の向上 活動を通じて氷見市の魅力や課題(担い手不足や未利用魚の問題など)を自分事として捉え、社会に貢献したいという前向きな姿勢が見られた。</p> <p>【授業後のアンケート】</p> <p>①地域協働学習により、教科学習の学びのモチベーションが高まったという生徒の割合 HIMI学Ⅰ・・・91.1%(N=191) HIMI学Ⅱ・・・96.2%(N=79)</p> <p>②地域協働学習に取り組んだことで、自らの問題解決能力の向上に繋がったと感じた生徒の割合 HIMI学Ⅰ・・・92.9%(N=191) HIMI学Ⅱ・・・92.3%(N=79)</p>																								
<p>対象者(学年・人数など)</p>	<p>「未来講座HIMI学Ⅰ」(普通科):1学年普通科80名 「未来講座HIMI学Ⅰ」(専門学科):1学年専門学科115名 「未来講座HIMI学Ⅱ」:2学年普通科79名</p>																								
<p>実施実績</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="123 795 357 836">4月</td> <td data-bbox="357 795 1843 836">「未来講座HIMI学Ⅱ」:講座3回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="123 836 357 877">5月</td> <td data-bbox="357 836 1843 877">「未来講座HIMI学Ⅰ」:講座1回/「地域の探究実践者と語る」1回「未来講座HIMI学Ⅱ」:講座3回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="123 877 357 918">6月</td> <td data-bbox="357 877 1843 918">「未来講座HIMI学Ⅰ」:講座1回「未来講座HIMI学Ⅱ」:講座2回 ※伴走者来校1回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="123 918 357 958">7月</td> <td data-bbox="357 918 1843 958">「未来講座HIMI学Ⅰ」:講座1～2回「未来講座HIMI学Ⅱ」:講座1～2回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="123 958 357 999">8月</td> <td data-bbox="357 958 1843 999">「未来講座HIMI学Ⅰ」:フィールドワーク実施「未来講座HIMI学Ⅱ」:フィールドワーク実施(各班ごと)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="123 999 357 1040">9月</td> <td data-bbox="357 999 1843 1040">「未来講座HIMI学Ⅰ」:講座3回 ※伴走者来校1回「未来講座HIMI学Ⅱ」:講座4回※伴走者来校1回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="123 1040 357 1080">10月</td> <td data-bbox="357 1040 1843 1080">「未来講座HIMI学Ⅰ」:講座3回 ※伴走者来校1回「未来講座HIMI学Ⅱ」:講座4回※伴走者来校1回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="123 1080 357 1121">11月</td> <td data-bbox="357 1080 1843 1121">「未来講座HIMI学Ⅰ」:講座3回 ※伴走者来校1回「未来講座HIMI学Ⅱ」:講座3回※伴走者来校1回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="123 1121 357 1162">12月</td> <td data-bbox="357 1121 1843 1162">「未来講座HIMI学Ⅰ」:講座2回 「未来講座HIMI学Ⅱ」:「HIMI学Ⅱ発表会」(校内・市内小中学校)・振り返り・ひみ教育フォーラム参加</td> </tr> <tr> <td data-bbox="123 1162 357 1203">1月</td> <td data-bbox="357 1162 1843 1203">「未来講座HIMI学Ⅰ」:講座3回 /「HIMI学Ⅰ発表会」・振り返り 「未来講座HIMI学Ⅱ」:とやま探究フォーラム参加</td> </tr> <tr> <td data-bbox="123 1203 357 1243">2月</td> <td data-bbox="357 1203 1843 1243">「未来講座HIMI学Ⅱ」:担当教員・伴走者・市役所担当者振り返り</td> </tr> <tr> <td data-bbox="123 1243 357 1284">3月</td> <td data-bbox="357 1243 1843 1284"></td> </tr> </table>	4月	「未来講座HIMI学Ⅱ」:講座3回	5月	「未来講座HIMI学Ⅰ」:講座1回/「地域の探究実践者と語る」1回「未来講座HIMI学Ⅱ」:講座3回	6月	「未来講座HIMI学Ⅰ」:講座1回「未来講座HIMI学Ⅱ」:講座2回 ※伴走者来校1回	7月	「未来講座HIMI学Ⅰ」:講座1～2回「未来講座HIMI学Ⅱ」:講座1～2回	8月	「未来講座HIMI学Ⅰ」:フィールドワーク実施「未来講座HIMI学Ⅱ」:フィールドワーク実施(各班ごと)	9月	「未来講座HIMI学Ⅰ」:講座3回 ※伴走者来校1回「未来講座HIMI学Ⅱ」:講座4回※伴走者来校1回	10月	「未来講座HIMI学Ⅰ」:講座3回 ※伴走者来校1回「未来講座HIMI学Ⅱ」:講座4回※伴走者来校1回	11月	「未来講座HIMI学Ⅰ」:講座3回 ※伴走者来校1回「未来講座HIMI学Ⅱ」:講座3回※伴走者来校1回	12月	「未来講座HIMI学Ⅰ」:講座2回 「未来講座HIMI学Ⅱ」:「HIMI学Ⅱ発表会」(校内・市内小中学校)・振り返り・ひみ教育フォーラム参加	1月	「未来講座HIMI学Ⅰ」:講座3回 /「HIMI学Ⅰ発表会」・振り返り 「未来講座HIMI学Ⅱ」:とやま探究フォーラム参加	2月	「未来講座HIMI学Ⅱ」:担当教員・伴走者・市役所担当者振り返り	3月	
4月	「未来講座HIMI学Ⅱ」:講座3回																								
5月	「未来講座HIMI学Ⅰ」:講座1回/「地域の探究実践者と語る」1回「未来講座HIMI学Ⅱ」:講座3回																								
6月	「未来講座HIMI学Ⅰ」:講座1回「未来講座HIMI学Ⅱ」:講座2回 ※伴走者来校1回																								
7月	「未来講座HIMI学Ⅰ」:講座1～2回「未来講座HIMI学Ⅱ」:講座1～2回																								
8月	「未来講座HIMI学Ⅰ」:フィールドワーク実施「未来講座HIMI学Ⅱ」:フィールドワーク実施(各班ごと)																								
9月	「未来講座HIMI学Ⅰ」:講座3回 ※伴走者来校1回「未来講座HIMI学Ⅱ」:講座4回※伴走者来校1回																								
10月	「未来講座HIMI学Ⅰ」:講座3回 ※伴走者来校1回「未来講座HIMI学Ⅱ」:講座4回※伴走者来校1回																								
11月	「未来講座HIMI学Ⅰ」:講座3回 ※伴走者来校1回「未来講座HIMI学Ⅱ」:講座3回※伴走者来校1回																								
12月	「未来講座HIMI学Ⅰ」:講座2回 「未来講座HIMI学Ⅱ」:「HIMI学Ⅱ発表会」(校内・市内小中学校)・振り返り・ひみ教育フォーラム参加																								
1月	「未来講座HIMI学Ⅰ」:講座3回 /「HIMI学Ⅰ発表会」・振り返り 「未来講座HIMI学Ⅱ」:とやま探究フォーラム参加																								
2月	「未来講座HIMI学Ⅱ」:担当教員・伴走者・市役所担当者振り返り																								
3月																									